

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、令和4年4月19日に小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に文部科学省によって実施されました。

本調査の結果は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示しているものです。香芝市では、この調査結果から子どもたちの学力や学習状況の具体的な現状を把握・分析し、今後の学校における教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てていくことが重要であると考えます。本市の調査結果の概要は以下のとおりです。

1. 調査の概要

(1) 調査実施日 令和4年4月19日(火)

(2) 調査対象 市内 10小学校 第6学年 (受検者数814名)

市内 4中学校 第3学年 (受検者数757名)

(3) 調査内容 ①教科に関する調査(国語科、算数科・数学科、理科)

②質問紙調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式で実施

※調査問題や質問紙の詳細については、国立教育政策研究所のHPをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/index.html>

2. 教科に関する調査結果の概要

※平成29年度から、国から提供される各都道府県別、各市町村別の平均正答率が整数値となったため、奈良県と香芝市の平均正答率は整数値で示しています。

(1) 小学校 *3教科とも全国平均を下回り、国語は県平均を上回っている。

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	9.1/14	8.9/14	9.2/14
	65%	63%	65.6%
算数科	9.9/16	10.0/16	10.1/16
	62%	62%	63.2%
理科	10.4/17	10.3/17	10.8/17
	61%	61%	63.3%

(上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率)

(2) 中学校 *理科は、県平均・全国平均を下回っているが、国語科は県平均・全国平均を上回っている。

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	9.8/14	9.5/14	9.7/14
	70%	68%	69.0%
数学科	7.2/14	7.0/14	7.2/14
	51%	50%	51.4%
理科	9.8/21	10.0/21	10.4/21
	47%	48%	49.3%

(上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率)

【国語科における状況】

- ・「話すこと・聞くこと」については、昨年度同様、全国平均を上回っている。
- ・「読むこと」については、昨年度と比べると、一定の改善が見られる。
- ・「書くこと」については、各校の取組において、授業等の中で「書く」機会を多く確保してきていることから、これまで課題であった記述式の正答率が少しずつ上がってきているが、無解答率は記述式に高い傾向がある。
- ・小学校では「漢字の書き取り」、中学校では「我が国の言語文化に関する事項」における、基礎基本(知識・技能)の定着に課題がある。

【算数・数学科における状況】

- ・小学校では、数の大きさを見積もる必要がある時に目的に応じて切り上げたり、切り捨てたり、四捨五入したりするなど、概算の方法が適切かどうかを判断できていない。「変化と関係」の領域で割合を用いて問題を解決する場面に課題がある。例えば、数量(飲み物の量)が変わっても割合(飲み物の濃さ)は変わらないことを理解することに課題がある。
- ・中学校では「関数」「図形」に課題がある。グラフの読み取りや図形の性質・関係について、プログラミング的思考を用いて説明するなど、小学校・中学校ともに、答えを導き出した過程や事柄が成り立つ理由を論理的に筋道立てて説明する力に課題がある。

【理科における状況】

- ・小学校では、習得した知識を日常生活や身近な現象との関わりの中で捉え直すことに課題がある。
- ・観察結果や実験結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として明らかにし表現することに課題がある。また、解答する上で、必要な条件を記述しきれていない解答が多くある。
- ・「課題(明らかにしたいこと)→仮説(予想)→実験(条件制御)→結果→考察」の流れにおいて、探究の過程を見通したり、検討・改善したりすることに課題がある。

3. 質問紙調査結果の概要

(1) 小学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	54.6%	55.2%	59.2%
算数の勉強は好きか	55.6%	59.7%	62.5%
理科の勉強は好きか	76.9%	77.1%	79.7%
家で計画を立てて勉強しているか	66.3%	66.2%	71.1%
自分には、よいところがあると思う	79.4%	77.9%	79.3%
いじめはどんな理由があってもいけないと思う	97.4%	96.9%	96.8%

(2) 中学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	60.4%	58.0%	61.9%
数学の勉強は好きか	53.3%	54.2%	58.1%
理科の勉強は好きか	53.6%	61.1%	66.4%
家で計画を立てて勉強しているか	50.8%	55.8%	58.5%
自分には、よいところがあると思う	72.6%	73.5%	78.5%
いじめはどんな理由があってもいけないと思う	97.4%	95.9%	96.4%

【小学校第6学年、中学校第3学年の状況】

- ・各教科の「勉強は好きか」という質問に、「はい・どちらかといえばはい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに奈良県平均・全国平均を下回っている。
- ・「家で計画を立てて勉強しているか」という質問に「よくしている・ときどきしている」と肯定的に回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を下回っている。
- ・自己有用感について、「自分にはよいところがあると思うか」という質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、小学校段階では全国平均を上回っているが、中学校になると低下する傾向が見られる。
- ・規範意識について、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」という質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、奈良県平均・全国平均を上回っている。

各学校では自校の課題を分析するとともに、昨年度の取組の検証を行っております。調査対象の学年だけでなく、学校全体の学力向上に取り組んで参ります。

教育委員会では、本調査結果や分析を踏まえ、授業改善や学習内容の理解・定着状況の確認、ICTの効果的な活用、学習習慣の確立が校長のリーダーシップのもと進むよう支援するとともに、教職員の授業力向上に努めて参ります。